

2020年オリンピック・パラリンピック競技大会の東京招致に関する決議

オリンピック・パラリンピック競技大会は、スポーツの持つ力が世界中の人々に大きな感動と夢を与えるとともに、人類の相互理解と国際平和の実現に大きく寄与してきた、世界最大のスポーツの祭典である。

2020年にオリンピック・パラリンピック競技大会を東京で開催することは、東日本大震災からの復旧、復興に向け、一丸となって取り組んでいる国民に希望と勇気を与え、復興・再生のシンボルとして、日本社会の活性化や経済の再建への大きな力になる。大会開催時には、力強く復興した安全な日本をアピールし、世界中の国々から寄せられた温かい支援に対する感謝や敬意をあらわす好機ともなる。

また、世界中のトップアスリートが競技に真摯に向かい合う姿は、国民のスポーツへの関心をより一層高め、とりわけ次世代を担う青少年にとっては、スポーツを通じた友情、連帯感、フェアプレーの精神を学ぶ機会となるとともに、日本全体のスポーツ振興の原動力につながる。

さらに、長年、被爆地として核兵器廃絶と世界恒久平和を訴えてきた長崎市においても、人間の尊厳保持と平和な社会を推進することを理念としたオリンピック・パラリンピック競技大会の日本開催は、大変意義深いものである。

よって、長崎市議会は、2020年オリンピック・パラリンピック競技大会の東京招致を強く求めるものである。

以上、決議する。

平成25年3月18日

長 崎 市 議 会